

平戸

令和4年10月28日
横浜市立平戸小学校
〒244-0803
横浜市戸塚区平戸町542番地
TEL 045-821-2329
FAX 045-826-2005



学校HP、校長室だよりが更新されています。ぜひご覧ください



3分間のおしゃべりタイム

副校長 平島 幸江

秋も深まり朝夕はめっきり冷え込むようになり、温かい鍋料理が恋しい頃となりました。過日、9月30日には3年ぶりのふるさと平戸の開催することができました。また、明日10月29日は、51回目の運動会を開催予定です。保護者や地域の皆様のお力添えのもと、平戸小学校児童の秋も充実し、ますます深まったものになっています。変わらぬご支援に心より感謝いたします。

日頃職員室で業務をしていますと、様々な児童が訪ねてきます。その日も、ある低学年の児童が、訪ねてきました。登校後すぐに具合が悪くなったので、休ませてほしいとのことでした。小さくかすれた声で自分のクラスと名前だけを話してくれましたが、顔色も悪く動きも緩慢です。まずは座らせ、体温を測りました。こういう場合、私は脇の下に挟むタイプの体温計で測らせませす。そして測っている間には、「朝の健康観察の状況」「朝ごはんの有無」「起床時間」「就寝時間」を必ず聞くようにしています。この子にも同じように話しかけてみたところ、どの項目も問題なし。体温計がピピッと鳴り、検温結果は36.9度。微妙です。さて困った。保護者の迎えをお願いするほどではないがどうしようか・・・と考えながら意味もなく立ち上がったところで、その子が「あの。」と声をあげました。「具合悪いの？」と慌てる私にその子はこう言いました。「先生、なんだか良くなりました。もう教室に戻れそうです。」「本当？無理しなくていいのよ。」「大丈夫です。」顔色も明るくなっています。体温計を片付けながらその子がつぶやきました。「先生と話していたら気づいた。久しぶりに話をしたなあって。話をしているうちに体が温まってきて大丈夫になった。」

この子の自己分析力に驚きながらも、「よく気づいたね。そうだね、声を出すって大切なことなのね。これからは、いってきますの前におうちのひとと3分間くらいのおしゃべりタイムで準備運動して体を温めてから登校するといいね。」と話したところ、その子は深く力強くうなずいて席を立てていきました。この後、一日通常通りの学習を行って帰って行ったと担任から報告を受けました。

この子との関わりから「おしゃべり」の効能を再確認しました。たわいもないおしゃべりで悩んでいたことの答えが自然と見付き心がすっきりすることが確かにあります。家庭の会話や地域の活動に積極的に取り組んでいる子どもは、情緒も安定し、学力が高くなる傾向にあるという研究や調査の結果もあります。例えば、11月は平戸小の近隣から見える富士山の夕景がとても美しい時期です。お子さんと一緒に眺めて思ったことを伝え合う時間をもってみませんか。他にも楽しいおしゃべりタイムの工夫があるかもしれません。3分間のおしゃべりタイムで楽しい秋の日々をすごされますよう願っています。

